



字多本久  
一

特別  
イ 4  
3163  
60(1)



14  
3163  
600)



Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), arranged in vertical columns from right to left. The text is contained within a rectangular border.



平安 北邊二世成壽識

Handwritten text in the left margin, possibly a page number or reference mark.

歌袋卷之一

目錄

- 六則
- 六運
- 五体
- 歌人若檢字

類字作者凡例

上の世より作者の如きも出さる別は書あり今より亦三代集の作者とてくわけ  
 後拾遺より下は他世の混能とせよといひてあり○作者の家系時代おとよび  
 ともいふの若し頭字の書と同派ありては但し号の頭字諱の頭字の親  
 妻子兄弟の如くは字をとりてその号の頭字諱の頭字の親  
 字ともとりてその号の頭字諱の頭字の親  
 字ともとりてその号の頭字諱の頭字の親  
 字ともとりてその号の頭字諱の頭字の親

○人品次序

- 帝王 親王 坊園 大臣 大納言 冬後 散三位 諸王 四五位 僧正
- 法下 僧都 法眼 律師 法橋 凡僧 女院 后宮 内親王 女御
- 御息所 更衣 尚侍 三三位女 庶女 神明 佛陀 化人 不知官位

○撰集畧法

- 古今 異 拾遺 後拾遺 金 詞 千 新 勅 統
- 今 統 送 才 玉 戈 風 野 野 野



色一風新主新二新三  
臣大 小一第方  
自信云天曆二才中納言以進其三

小八第中息所氏乃鼻  
臣大 小野水町  
或云出那那或人云玉造云小野小町非世事也

古十七兵四新六玉才一系二風二新三  
小町姊古一其二 小町孫孫小町

三小大君  
二第院女孫人右也拾之後五千一  
三統二遺

山田  
拾新一續一玉一載續後一風一  
上東門院  
法成寺園白女母乃大有種

信女後一全二千三新五續二今二玉系一  
大江千古  
冬清音人延

延古二五九卒器三  
藤千景  
大江千古  
冬清音人延

幹、至延長年拾一  
藤千景  
大江千古  
冬清音人延

善三信兵之蓋古  
二拾二初今玉一載續後一風二新千一  
新主新三

千包女  
友位  
友別  
古甲五七拾二今一玉一載續後一  
新主

公  
大  
稱名院  
道末内之藤  
藤千景  
藤千景  
藤千景

藤千景  
藤千景  
藤千景  
藤千景



諸君公...

三行守父馬助有教... 藤守父馬助有教...

言兼補天共九年... 藤行成待... 少將...

二十品行事... 藤行家... 藤行宗...

十六品行事... 藤行宗... 藤行家...

五品行事... 藤行宗... 藤行家...

御宇治令道... 藤行宗... 藤行家...

天祿四拾... 藤行宗... 藤行家...

後二觀今... 藤行宗... 藤行家...

四卷... 藤行宗... 藤行家...

大勢... 藤行宗... 藤行家...

右虎... 藤行宗... 藤行家...

才下... 藤行宗... 藤行家...

河春有... 藤行宗... 藤行家...

曆四... 藤行宗... 藤行家...

送之... 藤行宗... 藤行家...

六卒... 藤行宗... 藤行家...

住吉... 藤行宗... 藤行家...

今九... 藤行宗... 藤行家...

大御... 藤行宗... 藤行家...

三下... 藤行宗... 藤行家...

花山... 藤行宗... 藤行家...

三村... 藤行宗... 藤行家...

哥...

七

今九... 藤行宗... 藤行家...

大御... 藤行宗... 藤行家...

三下... 藤行宗... 藤行家...

花山... 藤行宗... 藤行家...

三村... 藤行宗... 藤行家...

哥...

哥...

都良香 之計頭良

池邦止 式古重剛 拾良 位都良香 之計頭良

物部良若古 位良置 位都良香 之計頭良

德四河内六千 德一初千 德一初千 德一初千 德一初千

至聖皇 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

家女房 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

元孝五卒 高向利春 皇一五 皇一五 皇一五

昌泰三但園 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

德十九今 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

武井 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

新七遠 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

古之 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

後九入 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

道園 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

德一今 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

六十七 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

或之 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

宇多 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

德一今 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五

于世 皇一五 皇一五 皇一五 皇一五



武主五十一凡七新九新才十一新才五新八

後德大寺大德... 天德寺... 寺門內春...

千四新才一新才二後久我大改... 通光...

玉之五凡... 持王... 持統天皇... 高野...

新才五... 持王... 持統天皇... 高野...

新才七... 持王... 持統天皇... 高野...

清和... 貞元... 清和... 貞元... 貞元...

古二平... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

安喚人... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

大信... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

盛... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

最相如... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

大德... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

賴基... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

金三... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

朱雀院... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

寬平... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

右女將... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

才掾... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

源... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

皇... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

四凡... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

今中... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

天皇... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

新... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

元荒... 貞元... 貞元... 貞元... 貞元...

賈之、李承觀二後二統一今二女平時望御妻其二旅天伴旅人又納之安磨新二

初後今二玉二武武新千名一僧素性於人頭於女將良華宗貞、吉北四其是拾二新二

統二今一才三玉二武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

**藤通俊**大武徑平、後五金三初二新二初今二透一武二色二新千一武武新千一武武新千一

**藤通賴**右馬尉 才女年推成、至正曆四拾一後一國友國經攝系 古一今二藤國車

冬濟元右、童右宮大武拾四位津守國助津主國平、今透四色才十六玉二武武新千十三

新才二武武新千六武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

國用分遣右馬頭季方、至永延二拾一津守國基位才女右康、辰久元叙爵後一金二

國新今二透一武二色二武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

詞二十新初統二今三透一前參才二玉二武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

友信恒佐、至天曆四三僧真靜位古二武二武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

藤十奉俊位右右官俊家、至永曆三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

色五月九新千六武武新千七武武新千七武武新千七武武新千七武武新千七武武新千七

長後每五作、建仁七十九年十七武武新千九武武新千九武武新千九武武新千九武武新千九

麻然丹史守右右、俗名馬徑千三武武新千二武武新千二武武新千二武武新千二武武新千二

母更不周子天性勇順容止可親先帝鍾愛教報終之妙配九華大位于時才才的

其武武新千天武武新千二武武新千二武武新千二武武新千二武武新千二武武新千二

**紀貫之**天武三三八任木頭天武九年 古九十八合百一武武新千一武武新千一武武新千一

是則、至天延三拾一後位紀望行古一倚橋倚平位清淨守是輔、正臣孫至天元三

拾一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

玉一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一武武新千一

文為二凡七新才二新才六新才二新才六 位五 橘清樹 位五 遠江守教雄、至早春二年古一

藤清正 位五 中仙之兼備、方中持利基孫是拾三新才初流二玉五文二色一新才一

新才二 位六 官道清樹 內院 古一佐伯清忠 拾二 清正母 位二 清成女 位二 清正娘 拾一

惟喬 位五 惟喬親王 位五 文德才、号小野宮母右房女古二 位五 惟喬親王女 位五

藤惟成 位五 藤惟成 位五 友女兵雅材、世号五位按致至寬和二拾一酒三新才初流新才一

新才一 位六 友女惟勢 陸奧掾 古一 紀惟岳 古一 惟岳 位二 惟喬親王女 位五

盛親 位三 盛明親王 位三 聖吉、世拾玉二文一 位二 慶 位二 源慶明 位三 三品世親王、天曆五年中

納言三位 位三 是而例也 聖三拾一 位二 紀淑光 位三 中納言長谷雄、世一 位四

紀淋人 位四 長谷雄、至天曆五十 位五 紀淑望 位三 中納言長谷雄、延喜十八年

古一新 位六 文屋康秀、元慶三任流及勅古四 位五 康資王母 位五 守成嬪女

仍号筑前母伊弉大輔、大皇太后宮女房後九金三酒二新才初流六流今一玉一古一

凡三新才一 位五 新才一 位五 健 位五 健守 拾三

善 位四 原善 位四 右衛門少輔、寬平及右大臣延喜元方送 聖三 位三 善祐 位三 皇太后密御

事三依于伊三配流三拾 位二 春院女官 貞觀二冬洋三、或大補十二才三位 聖

順德 位五 在為棟梁 位五 方中持業平、昌泰十一年古四 聖二流一 位五 順

十三 位五 原順能克守 友馬允舉、至天元三拾共四後三酒一初二流一今一玉六古一凡二

新才二 位五 新才一 位五 景武王 上野太守惟修親王後裔古二 位五 原景明 位五 大藏

大輔兼光、拾新才一 位五 陽成院 貞明 清和、是 位五 堀河院 善仁 白河、金平一

新才一 位五 堀河右、賴宗 清和、是 位五 堀河院 善仁 白河、金平一

二流才一 位五 藤兼光 位五 延長九中納言、兼右衛門、兼平、兼古四、兼七、兼七初

二流四玉三文為一凡 位五 新才二 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五

兼古二 位五 兼光 位五

五共 位五 平兼盛 位五 兵了大輔田行、至天元三拾共九後七初六今四流三玉二文三

凡一 位五 新才三 位五 新才一 位五 兼登 位五 兼登 位五 兼登 位五 兼登 位五 兼登 位五 兼登 位五

和四拾後七為一 位五 源兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五 兼光 位五

復備、伴良孫至天承三 位五 兼光 位五

兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五 兼好 位五

不知 位五 兼盛弟 拾一 位五 賀朝 位五

古一 位五 兼盛弟 拾一 位五 賀朝 位五

新才一 位五 兼盛弟 拾一 位五 賀朝 位五

二十六玉四三凡十新才五新才一 位五 兼盛弟 拾一 位五 賀朝 位五 賀朝 位五 賀朝 位五 賀朝 位五 賀朝 位五 賀朝 位五

五十三至二十八凡四十九年... 爲藤原家 中納言定家、法名融

覺... 今四十二歲... 爲藤原家 中納言定家、法名融

五十六至四十一凡八十九年... 爲藤原家 中納言定家、法名融

釋法... 中納言定家、法名融

爲藤原家 中納言定家、法名融

蘇便衡 大和年 中官大色子業、延元四六卒後、訖一千三十一、萬

波美雄 古一 法賢、坊坊中使仲、及一酒、兼天德、為教、送三十八、萬

德令 二 王九、三十一、萬

尼敬信 同 鏡、因香、萬

俗名、持良、華字、負實、卒二入、萬

一五、凡、萬

美平、萬

今五王、萬

帝母、萬

北、萬

一、萬

左中將、萬

三拾、萬

、萬

藤道信、萬

九、萬

三、萬

右、萬

道、萬

洞、萬

菅、萬

大、萬

正、萬





初四侍渡三玉三初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十初三十一初三十二初三十三初三十四初三十五初三十六初三十七初三十八初三十九初四十初四十一初四十二初四十三初四十四初四十五初四十六初四十七初四十八初四十九初五十初五十一初五十二初五十三初五十四初五十五初五十六初五十七初五十八初五十九初六十初六十一初六十二初六十三初六十四初六十五初六十六初六十七初六十八初六十九初七十初七十一初七十二初七十三初七十四初七十五初七十六初七十七初七十八初七十九初八十初八十一初八十二初八十三初八十四初八十五初八十六初八十七初八十八初八十九初九十初九十一初九十二初九十三初九十四初九十五初九十六初九十七初九十八初九十九初一百

上東門院女房後金一初一千一續二玉三初十一院內侍及保單院也信實初四續四今六續

宣旨大和宣旨中仲惟仲三條院皇太后宮女房大和守為妻故号大和後三

女藏人女藏人兵庫拾三條院女藏人右近拾三條院女藏人右近後惟于初三續一續二

命婦小戴命婦一拾八命婦藤原賀統兒命婦清子孫馬命婦

前橋侍藤棟世拾後一初一玉三小侍後命婦守山光入道二和宮女房後二

監命婦續今初十初十一

大納言昭訓門院大納言大納言為世才昭訓院玉一春日五中納言

中納言兼香殿中納言拾一

少納言少納言後生拾一清少納言法原元輔之妻守山官女房後二初二初三續

弁出羽弁初賀平季信紀伊守重經妹後五金一初二初三初四初五初六初七初八初九初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十初三十一初三十二初三十三初三十四初三十五初三十六初三十七初三十八初三十九初四十初四十一初四十二初四十三初四十四初四十五初四十六初四十七初四十八初四十九初五十初五十一初五十二初五十三初五十四初五十五初五十六初五十七初五十八初五十九初六十初六十一初六十二初六十三初六十四初六十五初六十六初六十七初六十八初六十九初七十初七十一初七十二初七十三初七十四初七十五初七十六初七十七初七十八初七十九初八十初八十一初八十二初八十三初八十四初八十五初八十六初八十七初八十八初八十九初九十初九十一初九十二初九十三初九十四初九十五初九十六初九十七初九十八初九十九初一百

宰相土清門院小宰相二家隆兼明院小宰相續六今十二續二才三才五才一風初

侍從本院侍從院前守棟梁兼拾一初二初三初四初五初六初七初八初九初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十初三十一初三十二初三十三初三十四初三十五初三十六初三十七初三十八初三十九初四十初四十一初四十二初四十三初四十四初四十五初四十六初四十七初四十八初四十九初五十初五十一初五十二初五十三初五十四初五十五初五十六初五十七初五十八初五十九初六十初六十一初六十二初六十三初六十四初六十五初六十六初六十七初六十八初六十九初七十初七十一初七十二初七十三初七十四初七十五初七十六初七十七初七十八初七十九初八十初八十一初八十二初八十三初八十四初八十五初八十六初八十七初八十八初八十九初九十初九十一初九十二初九十三初九十四初九十五初九十六初九十七初九十八初九十九初一百

大進大進初六金二初二初三初四初五初六初七初八初九初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十初三十一初三十二初三十三初三十四初三十五初三十六初三十七初三十八初三十九初四十初四十一初四十二初四十三初四十四初四十五初四十六初四十七初四十八初四十九初五十初五十一初五十二初五十三初五十四初五十五初五十六初五十七初五十八初五十九初六十初六十一初六十二初六十三初六十四初六十五初六十六初六十七初六十八初六十九初七十初七十一初七十二初七十三初七十四初七十五初七十六初七十七初七十八初七十九初八十初八十一初八十二初八十三初八十四初八十五初八十六初八十七初八十八初八十九初九十初九十一初九十二初九十三初九十四初九十五初九十六初九十七初九十八初九十九初一百

中務中務中務敷慶初王母伊勢七拾十四初四今三續七玉四三三三

式部和泉式部初中才江雅致或上東門院女房拾續後二七續金三初

宮內延喜大皇太后宮宮內拾後多羽院宮內右京大進師光初九初二

右京本院右京重兼兼建禮門院右京兼初五風初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十初三十一初三十二初三十三初三十四初三十五初三十六初三十七初三十八初三十九初四十初四十一初四十二初四十三初四十四初四十五初四十六初四十七初四十八初四十九初五十初五十一初五十二初五十三初五十四初五十五初五十六初五十七初五十八初五十九初六十初六十一初六十二初六十三初六十四初六十五初六十六初六十七初六十八初六十九初七十初七十一初七十二初七十三初七十四初七十五初七十六初七十七初七十八初七十九初八十初八十一初八十二初八十三初八十四初八十五初八十六初八十七初八十八初八十九初九十初九十一初九十二初九十三初九十四初九十五初九十六初九十七初九十八初九十九初一百初

修理修理內通允著真直行姉拾一初

右近右近少將季德兼兼五拾三初一





一 詩石花卷一

一

二

三

四

五

六

七

詩石花卷一  
一 詩石花卷一  
二 詩石花卷一  
三 詩石花卷一  
四 詩石花卷一  
五 詩石花卷一  
六 詩石花卷一  
七 詩石花卷一

一

詩石花卷一  
一 詩石花卷一  
二 詩石花卷一  
三 詩石花卷一  
四 詩石花卷一  
五 詩石花卷一  
六 詩石花卷一  
七 詩石花卷一  
八 詩石花卷一  
九 詩石花卷一  
十 詩石花卷一  
十一 詩石花卷一  
十二 詩石花卷一  
十三 詩石花卷一  
十四 詩石花卷一  
十五 詩石花卷一  
十六 詩石花卷一  
十七 詩石花卷一  
十八 詩石花卷一  
十九 詩石花卷一  
二十 詩石花卷一











Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a collection of letters. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several lines of text with some variations in line length and spacing.

詞林卷一

七



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, filling the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian, filling the right page of the manuscript.

Vertical text or signature on the right edge of the page.

Small vertical text or mark at the bottom of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a letter. The text is densely packed and covers most of the page.

三週

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is densely packed and covers most of the page.

諸位



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a collection of poems. The text is written in a cursive style with frequent use of kanji and hiragana. The columns are arranged from right to left across the page.





Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten marginal note on the left side of the page.

Handwritten marginal note on the left side of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the treatise from the previous page. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten marginal note on the right side of the page.

Handwritten marginal note on the right side of the page.



















けらびらひの海にぞむねのうねるがしらるひそめぬまのうねるも  
 伊あつた今をいかにかきくしりもせかりやあはれなるまのうねる  
 うらみ代もも。春後物信は教あるに信成りてまのうねるもあはれなる  
 のまのうねるも。花あなまのうねるもあはれなるまのうねるも。花  
 こもかたもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるも。花  
 千もかたもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるも。花  
 けあもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるも。花  
 又中しりもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるも。花  
 らあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまの  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる

小も根集まらちかかひいささなよ。秋葉流馬樂あはれなるまのうねる  
 あはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる  
 うねるもあはれなるまのうねるもあはれなるまのうねるもあはれなる







為明... 十... 昔... 舟  
 小舟  
 道... 御...  
 秋... 行...  
 十五... 首...  
 領... 隆...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...  
 ...

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or transcription of the poems in the adjacent column. The characters are dense and written in a cursive style.

長能の能因の...

能因

Handwritten text, likely a continuation of the commentary.

Handwritten text.

順法院

Handwritten text.

Handwritten text.

Handwritten text.

Handwritten text.

Handwritten text.

○六運 五体

六運の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては  
先づ此の神代ありし世を今に於ては

六運

かま

開闢より光仁天皇入清世まで

申し

行あるかき世まで

ありて

この後より白河院の世まで二百

ありて

五年の神代まで







古  
田  
集

九

Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single melodic line on a five-line staff.

古 田 集  
五  
玉  
Handwritten text annotations and labels below the musical staff.

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single melodic line on a five-line staff.

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single melodic line on a five-line staff.

古  
田  
集

九











一 明冬とくは野の草もさかすまきうじおひる夏のえはとまき  
ねらひきても命あつ物をうたぐきくぬ海をりしむせ  
道因

二 神のそ花袖く人あきぬかりけもまきまきまのそ  
馬子

五月マミ花福ノカラカケハ昔ノ人ノ袖ノカソミル  
そし尾上の志おひるひまははりておるねりしむせ  
家隆

秋風ノウキ吹コトニ馬砂ノ尾上ノ鹿ノ鳴ス日ソナキ  
ひんてりしむせ

十 ぬららの宿の伎乃ゆきをまもぬの月よりきておは  
係氏相重ニ更衣ナクナリ給ニハ年帝ヨリ勤夏ノ命婦ヲ使ニテ  
更衣ヲ授上ニ文ヲ送り多ハ其返事ヲ夜フ允テ待給ナリアリ  
九つの方を友とてなれぬひや雪の月をひかりしむせ  
信盛

古 花マツ人ニツツハ白妙ノ袖カトノソアヤマダレケル  
袖ノ色ナル白葉ト云フ時節節ノ条ニ委シ

つるつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花

〇山形ゆめみこころい

古事歌後こころもてむさかり古事ハ秋ふのこころ人のよめをたもつて  
おろしつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花  
たけあつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花  
あつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花

七 志つらねのあつたなして生田の川原をさかす  
通理

七 びしあつたつらねのあつたなして生田の川原をさかす  
兼重ノ一特節節ノ条ニ委シ

七 愛ふたつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花  
中勢物語ノ故事名所守津山ノ条ニ委シ

附言  
古事歌後こころもてむさかり古事ハ秋ふのこころ人のよめをたもつて  
おろしつとらよきをやく人の神のいろもくちかたの花





